

3 道路緑化樹木の推移

3.1 目的

全国の道路緑化樹木の本数や使用する樹種の推移を把握し、道路緑化に関する基礎資料とすることを目的とした。

3.2 方法

本章では、道路緑化樹木現況調査の対象範囲を全国に広げた1987年（昭和63年）以降の道路緑化樹木現況調査結果を中心にデータを集計・比較して解析を行った。各年の調査の方法は「第2章 道路緑化樹木現況調査」の「2.2 方法」と同様である。

3.3 結果

3.3.1 本数の推移

全国の高木および中低木の本数の推移を示したものが図-3.1と図-3.2である。本数は高木が1987年から1992年の5年間で107万本、1992年から1997年の5年間で143万本、1997年から2002年の5年間で58万本の増加となっており、1992年から1997年の143万本をピークに増加本数は減少傾向にある。

中低木は1987年から1992年の5年間で3,056万本、1992年から1997年の5年間で3,860万本、1997年から2002年の5年間で2,157万本の増加となっており、高木と同様、1992年から1997年の3,860万本をピークに増加本数は減少傾向にある。

道路延長あたりの高木の本数の増加（図-3.3）は、1987年から1992年の5年間で0.8本/km、1992年から1997年の5年間で1.1本/km、1997年から2002年の5年間で0.4本/kmの増加となっており、1992年から1997年の1.1本/kmをピークに増加本数は減少傾向にある。

中低木は、1987年から1992年の5年間で26.2本/km、1992年から1997年の5年間で31.9本/km、1997年から2002年の5年間で17.0本/kmの増加となっており、1997年の31.9本/kmの増加をピークに増加本数は減少傾向にある。

3.3.2 樹種の推移

道路緑化に使用されている樹種の本数の上位10種を調査年毎に示したものが表-3.1及び表-3.2である。高木では、イチョウ、サクラ類、ケヤキ、トウカエデ、クスノキ、ブラタナス類、ナナカマドの7種は15年間上位10種に毎回入っているものの、樹種の使用傾向は変化しており、1987年には3位であったブラタナス類が新たな植栽がほとんど無く順位を落としているほか、シダレヤナギやニセアカシアは圏外になった。一方でケヤキが1987年から2002年の間で3倍以上に本数を増やしたこと、最近ではハナミズキが著しく増えていることがわかる。

このような樹種の推移の理由として、プラタナス類、シダレヤナギ、ニセアカシアなどの減少は、成長が旺盛で剪定に手間がかかり、寿命が短く倒れやすいなど、一般的に管理がしにくいことから忌避されてきたものと考えられる。ケヤキも同じ傾向をもつが、樹形の美しさが好まれたものと考えられる。ハナミズキの増加は花や紅葉の美しさに加えて、樹高があまり高くならずに管理がしやすいなどの長所をもつことによると考えられる。また、クスノキ（常緑広葉樹）が増加しているのは、年間を通じて豊かな緑を提供することや、都市景観に風格を与えること、管理に比較的手間がかからないことが理由として考えられる。

中低木では、上位の5種はほとんど変動がない。なかでもツツジ類は15年間を通じて常に総本数の40%以上を占めている。ツツジ類が多いのは、美しく、病害虫にかかりにくく、強剪定に耐えて管理が容易であることなどによるものと考えられる。また、地被類のヘデラ類は著しく増加している。

また、植栽本数の変動が見られる高木について、樹種の多様性の構成比の推移を図-3.5に示した。全国調査の始まった1987年に上位5種が全体本数の3割強、上位10種が全体本数の5割前後を推移しており変化が少ない。また、総樹種数も1992年の500種類を境に増加がほとんどなく、頭打ちの傾向にある。

更に、地方毎に上位樹種の変動と樹種の多様性の推移を図-3.6から図-3.14及び表-3.4から表-3.12に示した。

北海道は、ナナカマドが一貫して1位で高い割合を示している。また、イチョウ、サクラ類、ハルニレが増加しており、ニセアカシア、プラタナス類が減少している。樹種はナナカマド、ハルニレ、アカエゾマツ、シラカンバなど北海道の地域特性に合った樹種が選択されている。そして、上位5種及び上位10種の割合が低下し、樹種の多様化の傾向が見られる。

東北は、ケヤキ、サクラ類、ナナカマド、ハナミズキの伸びが大きく、近年はヤマボウシも増加しており、プラタナス類、シダレヤナギは減少している。上位5種の割合の変動はあまりないが、上位10種の割合が低下し、樹種の多様化が見られる。

関東は一貫してイチョウが1位を占めている。また、ハナミズキの増加が著しく、プラタナス類の本数は横ばいだが相対的に順位を下げている。上位5種及び上位10種は少しずつではあるが割合が低下している。

北陸は、ケヤキ、サクラ類、ハナミズキの伸びが著しく、プラタナス類、ニセアカシア、シダレヤナギは減少している。また、上位5種及び上位10種の割合の低下が著しく多様化が顕著である。

中部は、トウカエデの順位が高いのが特徴となっている。また、ハナミズキの伸びが著しく、プラタナス類、シダレヤナギは減少している。上位5種及び上位10種の割合はあまり変化がないが、全国的に見ても割合は低く、多様である。

近畿は、ケヤキ、クスノキが増加しており、ウバメガシ、シダレヤナギが減少している。また、近年はハナミズキの伸びも高い。上位5種及び上位10種の割合はあまり変動が見られない。

中国は、モミジバフウの順位が高いのが特徴となっている。また、サクラ類、ケヤキの増加が著しかったが2002年で減少傾向に転じている。1987年に1位だったプラタナスはずっと減少し続けている。上位5種及び上位10種の割合は、少しずつではあるが低下し、樹種の多様化が見られる。

四国は、クスノキが一貫して1位で高い割合を示している。また、ケヤキ、ヤマモモも安定して上位を占めており、プラタナス類、シダレヤナギは減少傾向である。上位5種及び上位10種の割合の変動が激しい。

九州は、サクラ類の順位が高いのが特徴となっている。ケヤキ、クロガネモチ、クスノキも増加している。また、ホルトノキなど他の地方でこれまでに見られなかった樹種も上位に入っている。上位 5 種及び上位 10 種の割合はあまり変化がない。

沖縄は、上位 10 種は九州以北と全く異なっており、リュウキュウマツ、フクギの増加が著しく、ネズミモチの減少が著しい。上位 5 種及び上位 10 種の割合は、1997 年まではあまり変化がなかったが、2002 年は割合が低下し多様化の傾向が伺える。

高木の上位 50 種にうちの外来種の本数の割合を示したのが図-3.15 である。これによると、過去 10 年間で外来樹の本数は増加しているものの、構成比は減少し、在来種の使用が増加する傾向が読み取れる。外来種の減少の理由としては、前述した管理のしにくさからプラタナス類、ニセアカシアの使用が控えられていること、これに対して、近年、地域の特徴を活かしたまちづくりが求められており、ケヤキやクスノキ、シラカシなど、周辺の自然植生の構成樹種を用いる機会が増えていることがあげられる。

3.3.3 樹木タイプの推移

全国の樹木タイプの構成比の推移を図 - 3.16 に示した。1992 年から 1997 年の間で落葉樹の割合が減少し、常緑広葉樹の割合が増加していることがわかる。この変化は、3.3.2 樹種の推移で述べたクスノキやシラカシなどの増加によるものと考えられる。しかし、2002 年は若干ではあるが落葉広葉樹が増加している。図 - 3.17 で地域別に常緑広葉樹の割合の推移をみると、沖縄では一貫して割合が高い。また、近畿、四国では増加傾向にあるが、中国では減少している。また、関東や中部でも常緑樹の割合が増加しており、従来、現存植生に基づき常緑広葉樹の植栽に適するとされてきた西日本以外の地域でも常緑広葉樹の植栽が増加している地域もあることがわかる。

3.3.4 今後の課題

道路緑化の目的は、緑陰や都市景観の形成、交通安全機能に加えて、防災機能、CO₂の吸収、生物の生息空間としての機能など多方面にわたる一方で、病虫害の発生や日陰になってしまうなどの理由から沿道住民から迷惑施設と見られてしまうこともある。

また、植栽された樹種の高齢化により幹芯が空洞化し台風等による強風に対する抵抗力が弱くなり倒木の恐れがでてくる樹種もあるなど、新たな問題も出てきている。より一層の道路緑化の推進が重要であることはもちろんであるが、国民に対する街路樹への理解の呼びかけや維持管理の質の向上も重要となってくるであろう。そして、ひきつづき全国の道路緑化について基礎的な調査を継続するとともに、道路緑化の機能やその効果を全国レベルで把握するために必要な情報を収集・公開して、道路緑化事業の効果的な推進に役立てることが必要である。

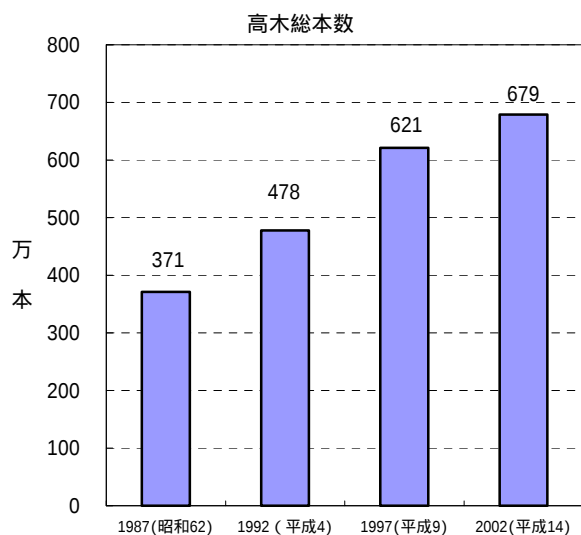


図-3.1 全国の高木本数の推移

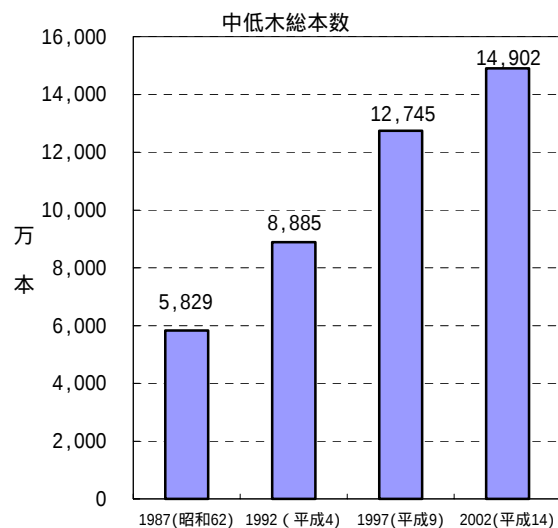


図-3.2 全国の中低木本数の推移

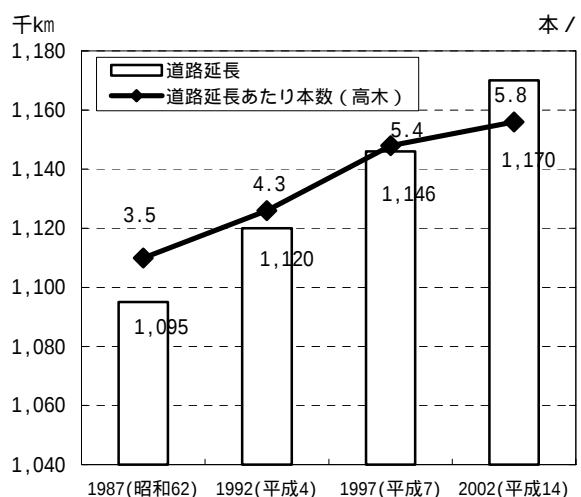


図-3.3 道路延長あたりの高木本数の推移

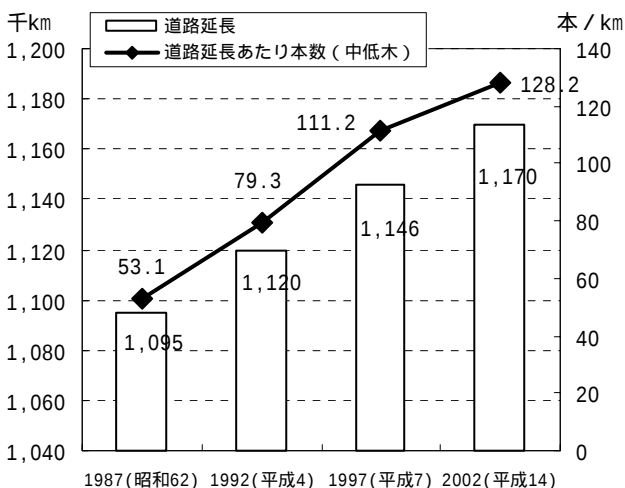


図-3.4 道路延長あたりの中低木本数の推移

表-3.1 道路緑化樹木(高木)の上位10種の推移

高木

順位	1987(昭和62)		1992(平成4)		対前回調査割合(%)	1997(平成9)		対前回調査割合(%)	2002(平成14)		対前回調査割合(%)
	樹種名	本数(千本)	樹種名	本数(千本)		樹種名	本数(千本)		樹種名	本数(千本)	
1	イチョウ	486	イチョウ	552	114	イチョウ	591	107	イチョウ	619	105
2	サクラ類	260	サクラ類	346	133	サクラ類	428	124	サクラ類	520	121
3	ブラタナス類	258	ケヤキ	305	229	ケヤキ	412	135	ケヤキ	476	116
4	トウカエデ	238	トウカエデ	281	118	トウカエデ	317	113	ハナミズキ	343	163
5	ケヤキ	133	ブラタナス類	251	97	クスノキ	247	128	トウカエデ	330	104
6	カシ類	129	クスノキ	193	151	ブラタナス類	229	91	クスノキ	286	116
7	クスノキ	128	ナナカマド	162	147	ハナミズキ	210	191	ブラタナス類	205	90
8	ナナカマド	110	日本産カエデ類	140	173	ナナカマド	193	119	ナナカマド	196	102
9	シダレヤナギ	109	モミジバフウ	120	146	シラカシ	179	294	サザンカ類	176	191
10	ニセアカシア	106	マテバシイ	112	-	日本産カエデ類	144	103	モミジバフウ	149	131
	総本数	3,708	総本数	4,785	129	総本数	6,208	130	総本数	6,786	109

注) カシ類はシラカシを含む

表-3.2 道路緑化樹木（中低木）の上位10種の推移

中低木

順位	1987（昭和62）		1992（平成4）		対前回調査割合（%）	1997（平成9）		対前回調査割合（%）	2002（平成14）		対前回調査割合（%）
	樹種名	本数（千本）	樹種名	本数（千本）		樹種名	本数（千本）		樹種名	本数（千本）	
1	ツツジ類	25,107	ツツジ類	37,578	150	ツツジ類	54,574	145	ツツジ類	61,532	113
2	シャリンバイ	4,971	シャリンバイ	7,057	142	シャリンバイ類	8,754	124	シャリンバイ類	8,945	102
3	アベリア	3,756	アベリア類	6,369	170	アベリア類	8,352	131	アベリア類	8,608	103
4	サザンカ類	2,542	サザンカ類	3,851	151	ツゲ類	6,910	208	サザンカ類	5,195	138
5	ツゲ類	2,330	ツゲ類	3,322	143	サザンカ類	3,778	98	ヘデラ類	5,154	219
6	イヌツゲ	1,428	ドウダンツツジ類	2,027	-	ドウダンツツジ類	2,758	136	ホンツゲ類	4,601	67
7	ハマヒサカキ	1,294	イヌツゲ類	1,937	136	トベラ類	2,742	156	ドウダンツツジ類	4,331	157
8	トベラ	1,249	トベラ	1,757	141	ヘデラ類	2,356	1,759	ヒペリカム類	2,789	155
9	ウバメガシ	1,067	ハマヒサカキ	1,692	131	ハマヒサカキ	2,170	128	イヌツゲ類	2,713	160
10	ネズミモチ	888	ネズミモチ類	1,337	151	ウバメガシ	1,921	177	ハマヒサカキ	2,046	94
	総本数	58,288	総本数	88,852	152	総本数	127,451	143	総本数	149,022	117

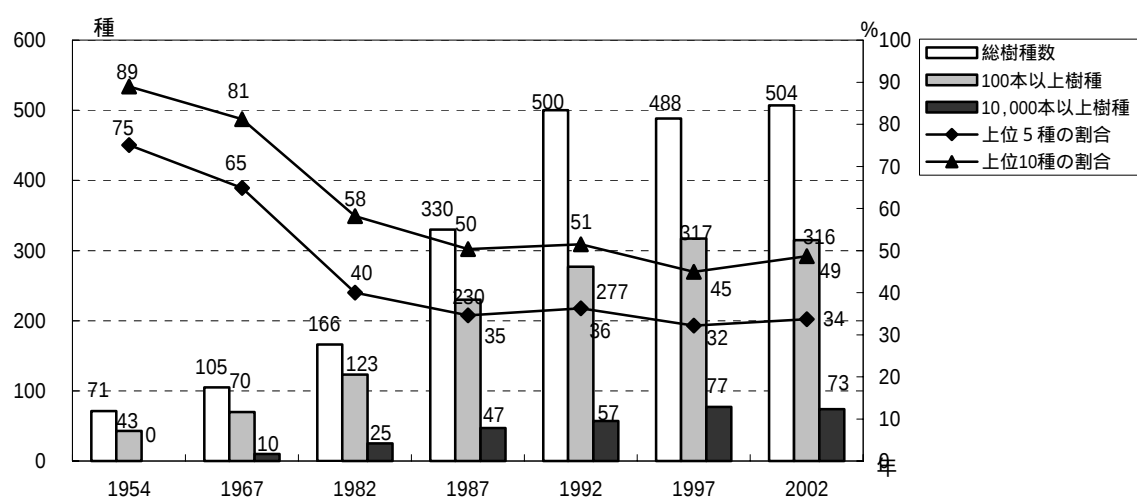


図-3.5 高木の樹種数と高木の上位樹種の割合

表-3.3 高木上位 10 種の推移（北海道）

順位	1987			1992			1997			2002		
	樹種名	本数	割合	樹種名	本数	割合	樹種名	本数	割合	樹種名	本数	割合
1	ナナカマド	90,530	20	ナナカマド	125,406	19	ナナカマド	140,529	16	ナナカマド	141,449	17
2	ニセアカシア	49,808	11	イチョウ	51,598	8	日本産カエデ類	63,912	7	イチョウ	63,228	7
3	プラタナス類	44,870	10	日本産カエデ類	49,505	8	イチョウ	60,908	7	サクラ類	60,659	7
4	イチョウ	38,279	8	ニセアカシア	47,254	7	アカエゾマツ	57,621	7	日本産カエデ類	46,577	5
5	カエデ類	31,500	7	プラタナス類	44,148	7	サクラ類	54,958	6	ハルニレ	42,841	5
6	サクラ類	30,304	7	サクラ類	34,238	5	プラタナス類	43,651	5	プラタナス類	39,483	5
7	シラカンバ	22,330	5	シラカンバ	31,964	5	ニセアカシア類	38,446	4	ニセアカシア	38,264	4
8	マツ類	16,345	4	ハルニレ	28,690	4	ハルニレ	35,730	4	アカエゾマツ	34,386	4
9	ニレ類	15,394	3	アカマツ・クロマツ類	26,597	4	シラカンバ	34,171	4	ブナゲンストウヒ	34,158	4
10	クロマツ	13,178	3	アカエゾマツ	21,404	3	アカマツ・クロマツ類	29,279	3	シラカンバ	31,062	4
総本数	461,507			652,035			864,945			856,791		
上位 5 種	55%			49%			44%			41%		
上 1 0 種	76%			71%			65%			62%		

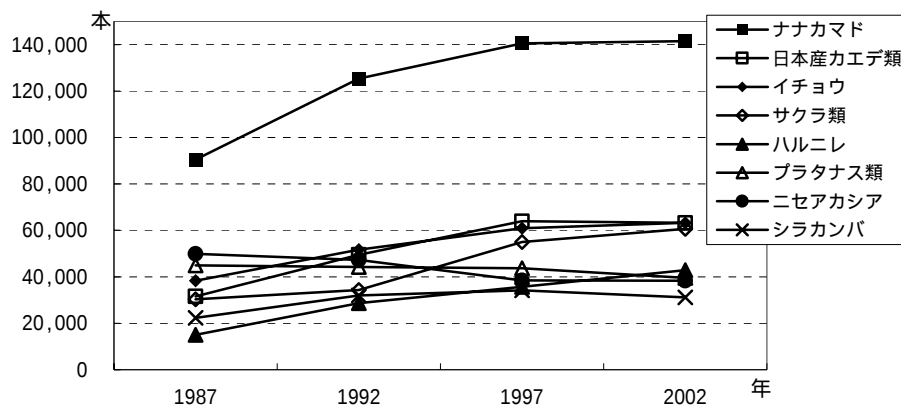


図-3.6 主要樹種本数の経年変化（北海道）

表-3.4 高木上位 10 種の推移（東北）

順位	1987			1992			1997			2002		
	樹種名	本数	割合	樹種名	本数	割合	樹種名	本数	割合	樹種名	本数	割合
1	イチョウ	34,133	16	イチョウ	51,311	14	ケヤキ	50,137	13	ケヤキ	55,518	12
2	ケヤキ	22,434	11	日本産カエデ類	32,851	9	サクラ類	36,210	9	サクラ類	45,086	10
3	トウカエデ	21,812	10	ケヤキ	32,251	9	イチョウ	35,979	9	イチョウ	38,768	9
4	サクラ類	17,211	8	トウカエデ	28,560	8	ナナカマド	34,505	9	ナナカマド	38,134	9
5	プラタナス類	15,984	8	プラタナス類	23,503	7	トウカエデ	33,553	9	トウカエデ	32,941	7
6	ナナカマド	11,947	6	ナナカマド	23,231	6	ハナミズキ	17,036	4	ハナミズキ	29,016	6
7	カイズカイブキ	8,873	4	サクラ類	20,584	6	プラタナス類	15,597	4	ユリノキ	15,432	3
8	ユリノキ	8,738	4	エンジュ	16,618	5	ユリノキ	14,452	4	プラタナス類	14,610	3
9	カエデ類	8,542	4	ユリノキ	12,532	3	サワラ類	11,358	3	日本産カエデ類	10,507	2
10	シダレヤナギ	7,442	4	イブキ類	9,852	3	カツラ	8,917	2	ヤマボウシ	9,876	2
総本数	207,889			358,722			393,173			447,031		
上位 5 種	54%			47%			48%			47%		
上 1 0 種	76%			70%			66%			65%		

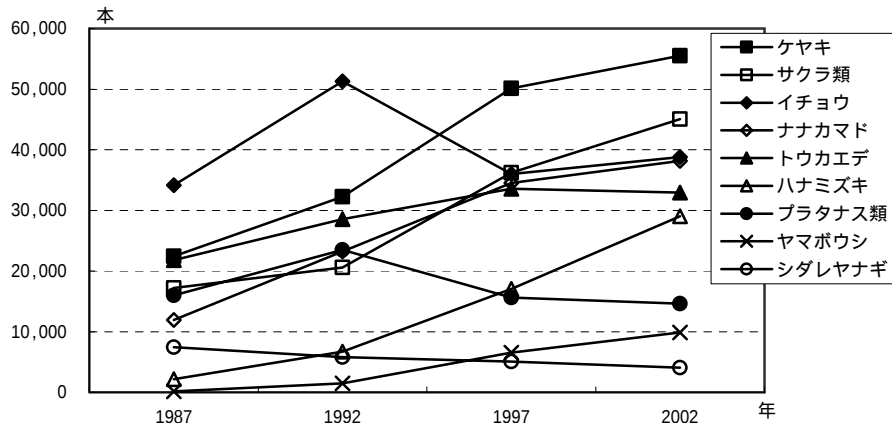


図-3.7 主要樹種本数の経年変化（東北）

表-3.5 高木上位 10 種の推移（関東）

1987				1992				1997				2002			
順位	樹種名	本数	割合	樹種名	本数	割合		樹種名	本数	割合		樹種名	本数	割合	
1	イチヨウ	176,465	18	イチヨウ	194,827	16		イチヨウ	201,033	15		イチヨウ	223,953	12	
2	プラタナス類	77,142	8	サクラ類	107,290	9		サクラ類	117,939	9		ハナミズキ	180,728	10	
3	サクラ類	80,506	8	ケヤキ	91,795	8		ハナミズキ	106,208	8		サクラ類	164,599	9	
4	トウカエデ	75,074	8	トウカエデ	82,802	7		ケヤキ	98,681	7		ケヤキ	129,617	7	
5	ケヤキ	62,539	6	プラタナス類	73,924	6		トウカエデ	88,471	6		トウカエデ	104,551	6	
6	マテバシイ	45,328	5	ハナミズキ	64,462	5		プラタナス類	70,473	5		プラタナス類	77,464	4	
7	エンジュ	39,259	4	ユリノキ	53,008	4		ユリノキ	56,658	4		マテバシイ	73,794	4	
8	ユリノキ	37,160	4	マテバシイ	50,753	4		マテバシイ	56,180	4		クスノキ	64,616	3	
9	ハナミズキ	30,100	3	エンジュ	38,934	3		クスノキ	43,362	3		ユリノキ	64,326	3	
10	シダレヤナギ	26,737	3	クスノキ	33,237	3		エンジュ類	38,225	3		エンジュ	45,038	2	
総本数		966,802			1,214,647				1,375,186				1,849,807		
上位 5 種		49%			45%				45%				43%		
上 10 種		67%			65%				64%				61%		

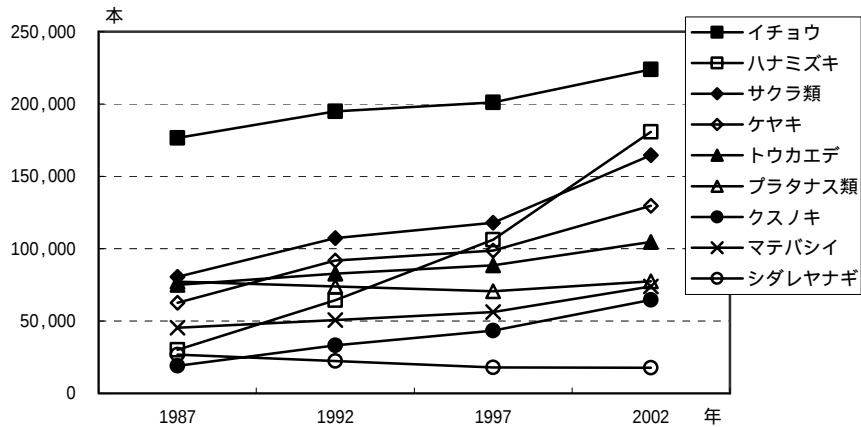


図-3.8 主要樹種本数の経年変化（関東）

表-3.6 高木上位 10 種の推移（北陸）

1987				1992				1997				2002			
順位	樹種名	本数	割合	樹種名	本数	割合		樹種名	本数	割合		樹種名	本数	割合	
1	イチヨウ	22,773	23	イチヨウ	26,494	18		ケヤキ	29,957	13		ケヤキ	38,071	16	
2	トウカエデ	11,650	12	ケヤキ	19,740	13		イチヨウ	24,915	11		イチヨウ	26,497	11	
3	ケヤキ	10,248	10	サクラ類	13,684	9		アカマツ・クロマツ類	18,871	8		サクラ類	20,702	9	
4	プラタナス類	9,852	10	アカマツ・クロマツ類	12,276	8		トウカエデ	17,564	8		ハナミズキ	14,887	6	
5	サクラ類	9,522	9	トウカエデ	10,412	7		サクラ類	15,478	7		トウカエデ	10,695	4	
6	ニセアカシア	8,473	8	モミジバフウ	6,653	4		ハナミズキ	10,704	5		アカマツ・クロマツ類	9,632	4	
7	モミジバフウ	6,479	6	プラタナス類	5,624	4		プラタナス類	6,701	3		ユリノキ	5,976	3	
8	シダレヤナギ	5,846	6	シダレヤナギ	5,142	3		ユリノキ	6,352	3		プラタナス類	5,963	3	
9	ユリノキ	4,443	4	ユリノキ	4,916	3		ナナカマド	5,755	2		モミジバフウ	5,844	2	
10	カイズカイブキ	3,555	4	ニセアカシア	4,395	3		ヤナギ類	5,541	2		ヤマボウシ	5,572	2	
総本数		101,131			149,867				232,066				238,333		
上位 5 種		63%			55%				46%				47%		
上 10 種		92%			73%				61%				60%		

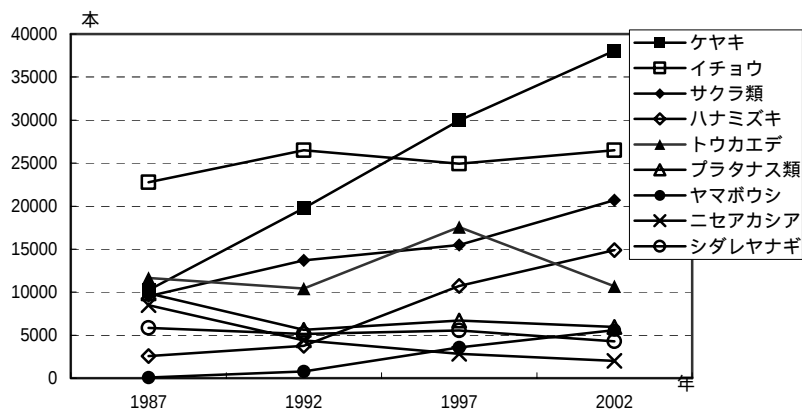


図-3.9 主要樹種本数の経年変化（北陸）

表-3.7 高木上位 10 種の推移（中部）

	1987			1992			1997			2002		
順位	樹種名	本数	割合	樹種名	本数	割合	樹種名	本数	割合	樹種名	本数	割合
1	イチョウ	59,697	12	イチョウ	76,841	12	イチョウ	81,831	10	トウカエデ	78,095	9
2	トウカエデ	49,243	10	トウカエデ	67,618	10	トウカエデ	73,959	9	イチョウ	76,881	9
3	サクラ類	39,977	8	サクラ類	58,020	9	サクラ類	58,341	7	サクラ類	60,004	7
4	ブラタナス類	32,220	7	ケヤキ	37,710	6	ケヤキ	49,622	6	ハナミズキ	55,989	7
5	ナンキンハゼ	21,855	4	ナンキンハゼ	37,099	6	ハナミズキ	41,957	5	ケヤキ	50,205	6
6	ケヤキ	18,498	4	ブラタナス類	32,982	5	ナンキンハゼ	40,864	5	ナンキンハゼ	41,946	5
7	シダレヤナギ	16,180	3	クスノキ	22,069	3	クスノキ	28,838	3	クスノキ	33,152	4
8	マテバシイ	12,980	3	日本産カエデ類	20,309	3	ブラタナス類	27,707	3	シラカシ	30,254	4
9	アオギリ	12,711	3	ハナミズキ	20,140	3	日本産カエデ類	24,619	3	モミジバフウ	26,937	3
10	クスノキ	12,193	3	モミジバフウ	19,528	3	モミジバフウ	23,326	3	日本産カエデ類	23,455	3
総本数	486,938			648,813			843,480			850,643		
上位5種	42%			43%			36%			38%		
上10種	57%			60%			53%			56%		

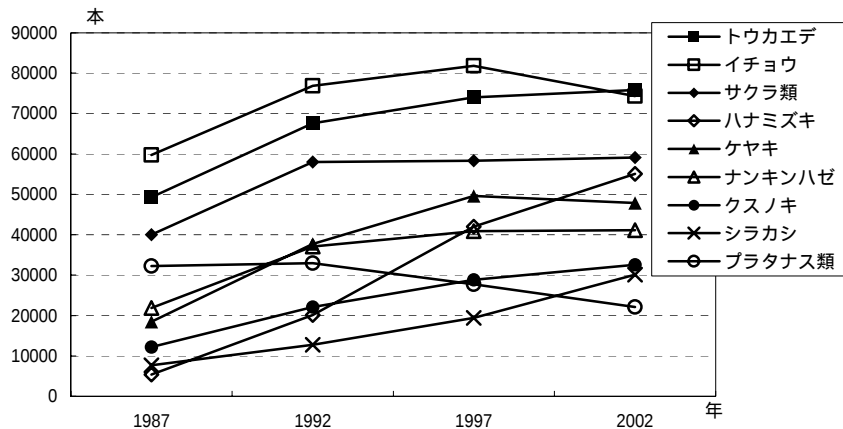


図-3.10 主要樹種本数の経年変化（中部）

表-3.8 高木上位 10 種の推移（近畿）

	1987			1992			1997			2002		
順位	樹種名	本数	割合	樹種名	本数	割合	樹種名	本数	割合	樹種名	本数	割合
1	カシ類	107,483	12	イチョウ	90,363	11	イチョウ	120,353	11	イチョウ	118,996	11
2	イチョウ	99,734	11	クスノキ	67,729	8	ケヤキ	92,184	8	ケヤキ	96,751	9
3	トウカエデ	57,351	7	ケヤキ	61,701	7	クスノキ	91,234	8	クスノキ	93,377	8
4	クスノキ	48,212	5	トウカエデ	61,207	7	トウカエデ	71,788	6	サザンカ類	72,631	7
5	ケヤキ	48,154	5	カシ類	45,156	5	シラカシ	68,941	6	トウカエデ	70,059	6
6	ブラタナス類	45,390	5	サクラ類	44,269	5	サクラ類	50,194	4	サクラ類	61,452	6
7	ウバメガシ	43,064	5	ウバメガシ	43,265	5	ブラタナス類	38,388	3	シラカシ	37,714	3
8	サクラ類	37,570	4	ブラタナス類	40,485	5	ナンキンハゼ	34,604	3	ハナミズキ	34,684	3
9	ナンキンハゼ	25,579	3	ナンキンハゼ	33,737	4	アラカシ	29,999	3	ナンキンハゼ	33,113	3
10	シダレヤナギ	24,861	3	イブキ類	20,209	2	ヤマモモ	29,676	3	ネズミモチ類	29,320	3
総本数	878,142			853,529			1,131,750			1,099,872		
上位 5 種	41%			38%			39%			41%		
上 10 種	61%			60%			55%			59%		

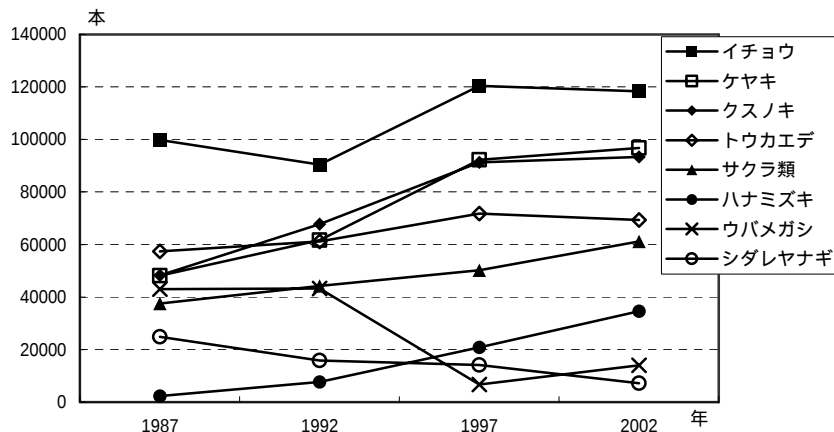


図-3.11 主要樹種本数の経年変化（近畿）

表-3.9 高木上位 10 種の推移（中国）

順位	1987			1992			1997			2002		
	樹種名	本数	割合	樹種名	本数	割合	樹種名	本数	割合	樹種名	本数	割合
1	ブラタナス類	17331	11	クスノキ	20,638	10	シラカシ	52,599	12	サザンカ類	29,458	8
2	モミジバフウ	16121	10	モミジバフウ	20,184	10	サクラ類	32,989	7	ケヤキ	29,150	8
3	クスノキ	13188	8	サクラ類	18,049	9	ケヤキ	29,844	7	モミジバフウ	27,988	8
4	イチョウ	11744	7	ブラタナス類	17,224	8	アラカシ	26,067	6	サクラ類	23,978	7
5	ケヤキ	8530	5	ケヤキ	15,869	8	モミジバフウ	24,946	6	クスノキ	22,697	6
6	トウカエデ	7283	5	イチョウ	11,476	5	クスノキ	24,645	6	イチョウ	12,442	4
7	サクラ類	6860	4	マデバシイ	8,301	4	サザンカ類	18,512	4	シラカシ	11,855	3
8	カイズカイブキ	6831	4	ヤマモモ	8,230	4	イチョウ	15,117	3	ブラタナス類	11,639	3
9	マデバシイ	6211	4	トウカエデ	8,212	4	ブラタナス類	13,805	3	クロガネモチ	11,164	3
10	アオギリ	6171	4	クロガネモチ	6,978	3	ウバメガシ	9,466	2	ヤマモモ	9,862	3
総本数		157,838			211,408			441,720			350,850	
上位 5 種		42%			44%			38%			38%	
上位 10 種		64%			64%			56%			54%	

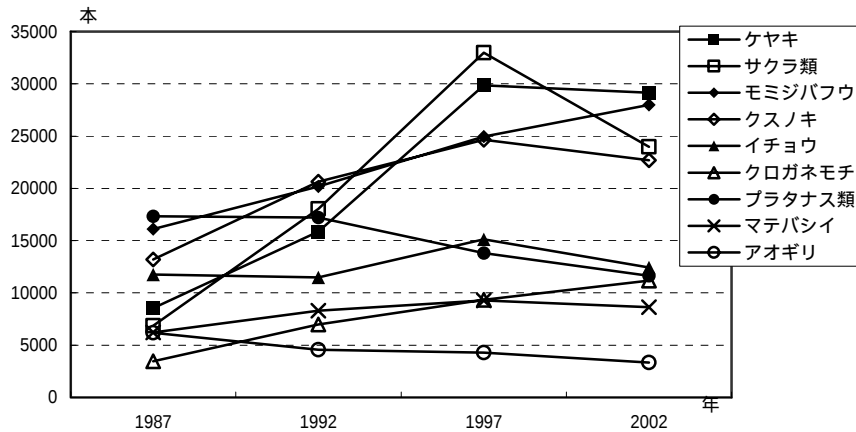


図-3.12 主要樹種本数の経年変化（中国）

表-3.10 高木上位 10 種の推移（四国）

順位	1987			1992			1997			2002		
	樹種名	本数	割合	樹種名	本数	割合	樹種名	本数	割合	樹種名	本数	割合
1	クスノキ	7,226	5	クスノキ	12,710	13	クスノキ	15,354	12	クスノキ	23,109	15
2	ヤマモモ	5,666	4	サクラ類	7,581	8	サンゴジュ	10,202	8	ケヤキ	10,332	7
3	ブラタナス類	5,568	4	ヤマモモ	7,371	7	ケヤキ	10,099	8	ヤマモモ	9,385	6
4	モミジバフウ	5,267	4	モミジバフウ	6,704	7	ヤマモモ	7,275	5	モミジバフウ	8,509	6
5	イチョウ	4,751	3	トウカエデ	6,244	6	イチョウ	6,884	5	ナンキンハゼ	8,034	5
6	カイズカイブキ	3,821	3	イチョウ	6,084	6	マデバシイ	6,750	5	クロガネモチ	8,024	5
7	マデバシイ	3,625	3	ブラタナス類	5,175	5	ナンキンハゼ	6,189	5	マデバシイ	7,470	5
8	シダレヤナギ	3,424	2	マデバシイ	5,039	5	クロガネモチ	5,999	4	イチョウ	6,792	4
9	サクラ類	3,239	2	ケヤキ	4,929	5	サクラ類	5,158	4	サクラ類	6,197	4
10	トウカエデ	3,202	2	モミジバフウ	19,528	20	モミジバフウ	4,801	4	トウカエデ	5,575	4
総本数		141,415			99,868			133,418			154,621	
上位 5 種		20%			41%			37%			38%	
上位 10 種		32%			81%			59%			60%	

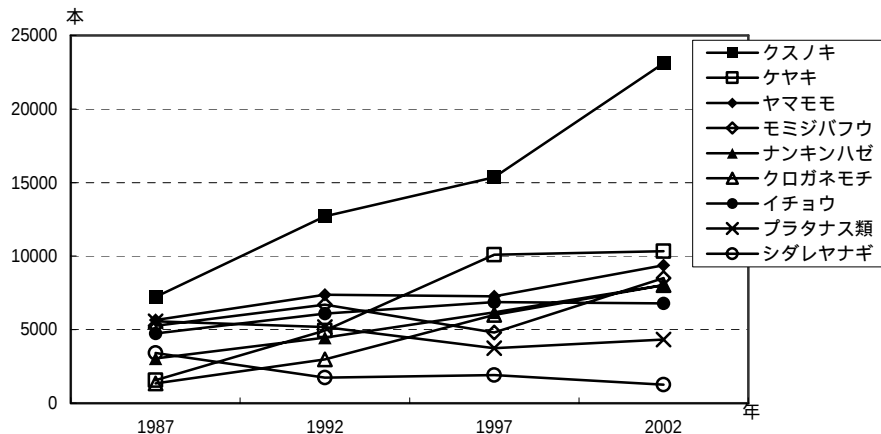


図-3.13 主要樹種本数の経年変化（四国）

表-3.11 高木上位 10 種の推移（九州）

順位	1987			1992			1997			2002		
	樹種名	本数	割合	樹種名	本数	割合	樹種名	本数	割合	樹種名	本数	割合
1	イチョウ	38,001	11	イチョウ	43,413	10	サクラ類	50,990	9	サクラ類	72,532	11
2	サクラ類	30,197	9	ケヤキ	40,395	9	ケヤキ	50,446	9	ケヤキ	65,154	10
3	ホルトノキ	29,271	9	クロガネモチ	38,100	9	クロガネモチ	47,425	8	クロガネモチ	58,163	9
4	クスノキ	26,454	8	サクラ類	37,587	9	イチョウ	44,045	8	イチョウ	50,959	7
5	クロガネモチ	25,757	8	クスノキ	35,643	8	クスノキ	41,968	7	クスノキ	47,636	7
6	ケヤキ	18,852	6	ホルトノキ	33,643	8	ホルトノキ	39,592	7	ホルトノキ	34,203	5
7	カイズカイブキ	18,830	6	ナンキンハゼ	19,105	4	サザンカ類	21,278	4	サザンカ類	26,886	4
8	ナンキンハゼ	16,837	5	トウカエデ	16,372	4	トウカエデ	18,203	3	ナンキンハゼ	23,971	4
9	ヤシ類	12,399	4	イブキ類	15,817	4	ナンキンハゼ	18,112	3	トウカエデ	20,176	3
10	トウカエデ	12,101	4	モミジバフウ	11,438	3	ツバキ類	17,203	3	モミジバフウ	17,332	3
総本数		334,479			431,208			572,771			680,418	
上位 5 種		45%			45%			41%			43%	
上位 10 種		68%			68%			61%			61%	

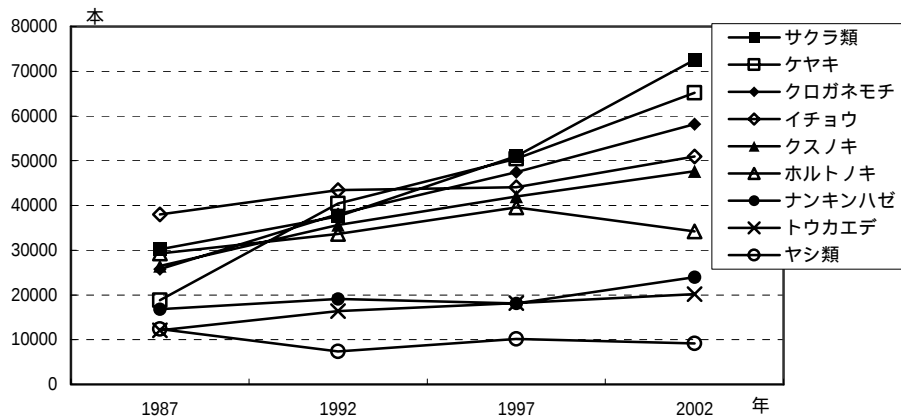


図-3.14 主要樹種本数の経年変化（九州）

表-3.12 高木上位 10 種の推移（沖縄）

順位	1987			1992			1997			2002		
	樹種名	本数	割合	樹種名	本数	割合	樹種名	本数	割合	樹種名	本数	割合
1	ネズミモチ	16,180	14	テリハボク	19,416	12	リュウキュウマツ	26,979	12	リュウキュウマツ	31,091	12
2	ヤシ類	12,182	10	リュウキュウマツ	18,197	11	テリハボク	21,843	10	フクギ	29,422	11
3	ガジュマル	10,024	9	フクギ	16,039	10	フクギ	21,057	10	テリハボク	22,055	9
4	テリハボク	7,503	6	リュウキュウコクタン	11,067	7	リュウキュウコクタン	18,470	8	リュウキュウコクタン	13,836	5
5	イスノキ	6,814	6	イスノキ	10,058	6	ガジュマル類	14,210	6	ホルトノキ	12,701	5
6	フクギ	6,770	6	ホルトノキ	9,567	6	ホルトノキ	12,644	6	イスノキ	11,446	4
7	リュウキュウマツ	6,162	5	イヌマキ類	6,861	4	イスノキ	11,531	5	ガジュマル類	10,766	4
8	ホルトノキ	5,880	5	ガジュマル	6,567	4	アカギ	7,737	4	クロキ	9,715	4
9	モッコク	5,749	5	トックリヤシモドキ	6,090	4	トックリヤシモドキ	6,918	3	ブーゲンビレア	9,627	4
10	イヌマキ	4,903	4	アカギ	5,787	4	サクラ類	6,199	3	ホウオウボク	8,507	3
総本数		117,041			164,605			219,742			257,384	
上位 5 種		45%			45%			47%			42%	
上位 10 種		70%			67%			67%			62%	

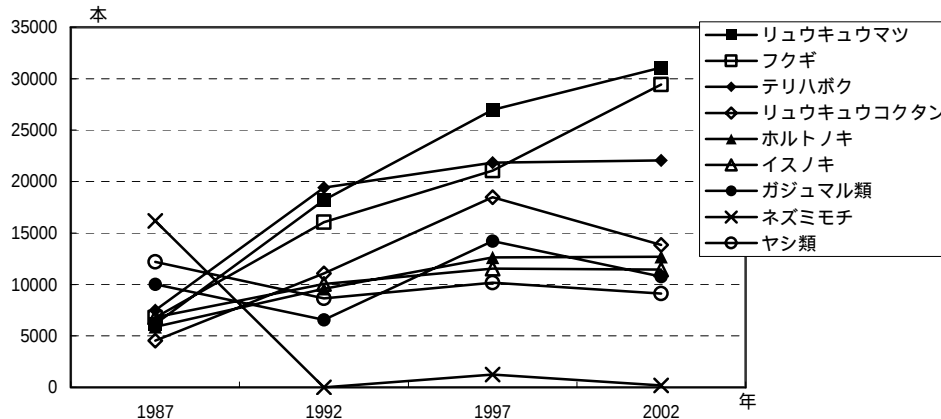


図-3.15 主要樹種本数の経年変化（沖縄）

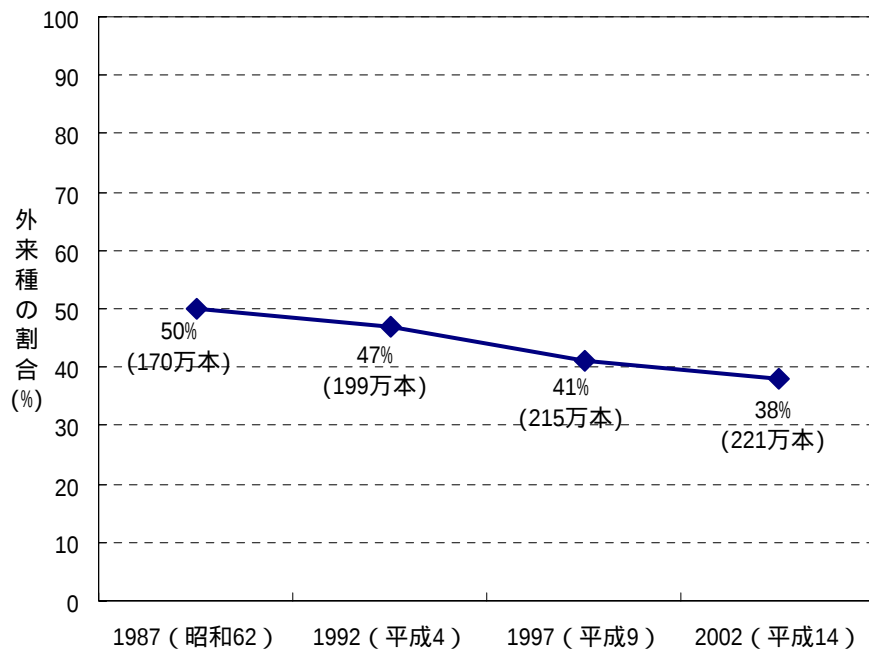


図-3.16 高木上位 50 種の合計本数のうち外来種本数が占める割合の推移

各調査の上位 50 種が総本数に占める割合は、1987 年で 88%、1992 年で 89%、1997 年で 85%、2002 年で 86%

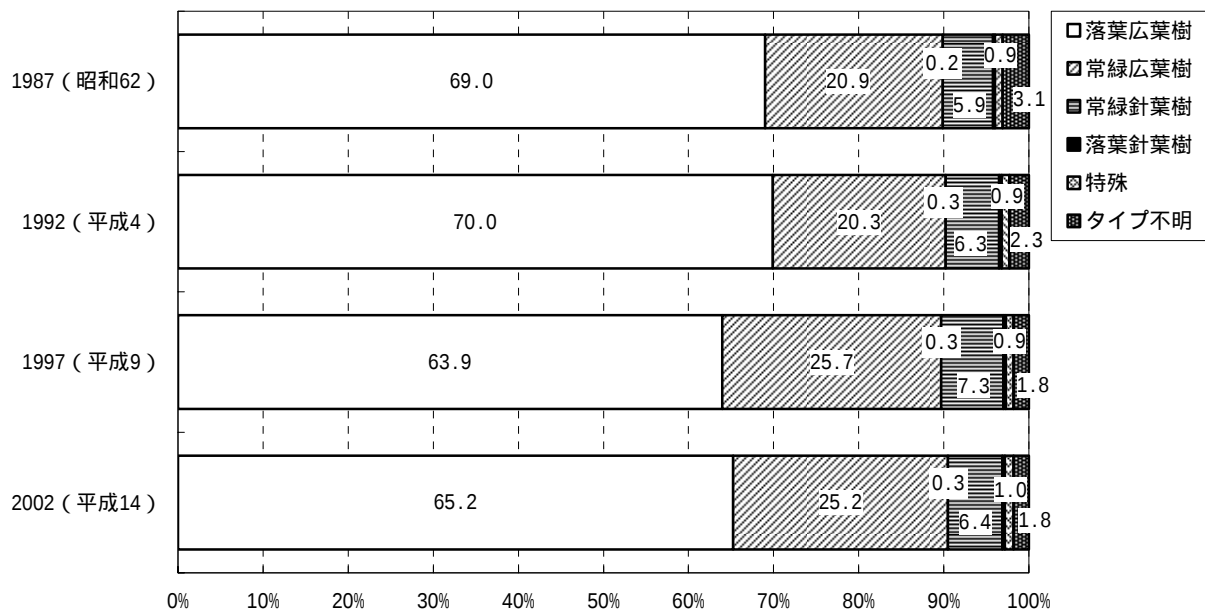


図-3.17 全国の樹木タイプの変化

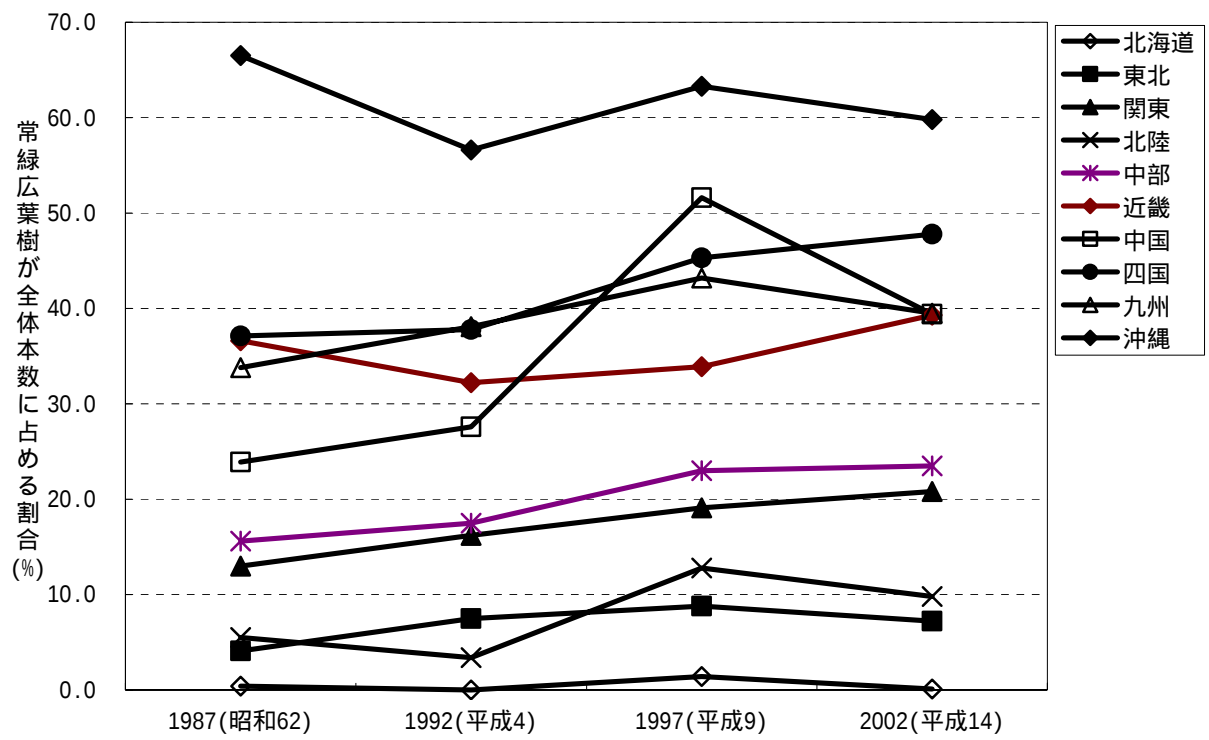


図-3.18 常緑広葉樹が全体本数に占める割合